議会だより

2012.2
vol.33

ふじかわぐちこ

大石地区十四日祭礼

●こういうことを決めました　2P
●代表質問　4P
●一般質問　6P
●委員会レポート　10P
●特集　町内視察報告　13P
●窓・編集後記　14P

こういうことを決めました!

浜岡原発を永久停止にすることの意見書を求める請願を採択

平成23年第4回定例会

つどいの広場・子ども未来創造館クリスマス会

平成23年第4回富士河口湖町議会定例会は12月13日に開会し、会期を21日までの9日間と決めて、報告1件、条例の一部改正2件、条例の全部改正1件、町道の路線認定1件、補正予算11件、同意案件7件、請願1件を審議し、すべて原案どおり可決、承認、採択された。

12月の定例会では、総務、文教社会、産経土木の3つの常任委員会に関係する議案が付託され、それぞれの常任委員会において慎重な審議が行われた。

●報告・承認案件(3件)

▼平成22年度教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検・評価について報告案件

▼富士河口湖町の町有施設の指定管理者の指定について承認案件　(河口湖美術館他5施設を、富士河口湖ふるさと振興財団に管理委託をするもの)

▼富士河口湖町の町有施設の指定管理者の指定について承認案件　(河口湖ハーバル工房他1施設を、富士河口湖町社会福祉協議会に管理委託をするもの)

●条例の一部改正(2件)

▼富士河口湖町税条例等の一部改正

概要:寄付金への税額控除の見直しと下限額引き下げ、住民税脱税犯への懲役刑の引き上げ。県が指定した法人等への寄付の税額控除。個人住民税の納期前納付報奨金の廃止。

▼富士河口湖町特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正

概要:条例の中の「体育指導委員」を「スポーツ推進委員」に名称変更するもの。

●条例の全部改正(1件)

▼富士河口湖町スポーツ振興審議会条例の全部改正

概要:条例名をスポーツ推進審議会条例とし、町においてスポーツの推進を図るため計画等を策定するもの。

●町道の路線認定(1件)

▼町道9527号他20の路線認定

富士ヶ嶺地区の別荘地内の道路の寄付による町道認定。

一般会計補正予算 9,593万円の増額補正

一般会計補正予算

総額9,593万円の増額補正を可決。

▼一般会計補正予算(第8号)
一般会計の補正は、14課・2局・1出張所に関係する予算。
増額となった主なもの

- ・こもも保育所駐車場用地購入費…… 1,000万円
- ・後期高齢者医療広域連合負担金…… 1,220万円
- ・重度心身障害者医療費助成金…… 1,000万円
- ・自立支援医療費…… 500万円
- ・畑地帯総合整備事業負担金…… 650万円
- ・福祉センター修繕費…… 332万円
- ・職員駐車場整備費…… 600万円
- ・住宅新築奨励金…… 200万円

こもも保育所(船津)

●請願(1件)

▼浜岡原発を永久停止にすることの意見書を求める請願

請 願 人　渡辺正日古　中村澄子　他645名
紹介議員　髙山泰治　駒谷隆利　倉澤鶴義
　　梶原義美　山下利夫

内　　容　浜岡原子力発電所を永久停止にすることの意見書の提出を求めること。
審議結果　賛成15、反対2で採択。

●委員同意案件・委員選挙(9件)

◆富士河口湖町教育委員会委員任命の同意
船津　渡邉　東作　氏
河口　三浦　珠枝　氏

◆富士河口湖町公平委員会委員選任の同意
船津　渡邉　忠男　氏
大嵐　渡邊　和也　氏
精進　山田　喜智　氏

◆河口財産区管理委員選任の同意
河口　駒谷　隆利　氏
河口　髙山　泰治　氏

◆西深沢外十三恩賜県有財産保護財産区管理委員選任の同意
河口　駒谷　隆利　氏
河口　髙山　泰治　氏

◆勝山財産区管理委員選任の同意
勝山　倉澤　鶴義　氏
勝山　堀内　勝　氏
勝山　小佐野公夫　氏
勝山　流石喜久男　氏
勝山　小佐野　近　氏
勝山　倉澤　傳夫　氏

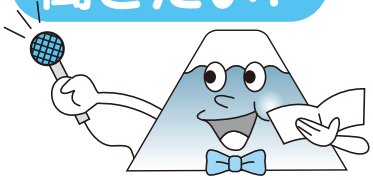
◆西湖財産区管理委員選任の同意
西湖西　渡辺　豊久　氏

◆富士河口湖町河口湖治水委員会委員の同意
船津　中村　照美　氏
小立　渡邊　公弘　氏
大石　大森　道定　氏
大石　梶原　宗行　氏
河口　倉澤　孝　氏
勝山　流石　榮記　氏
長浜　三浦　甫夫　氏
長浜　三浦孝四郎　氏

◆富士河口湖町選挙管理委員会委員の選挙
河口　外川　司朗　氏
勝山　流石　丈夫　氏
西湖西　古谷　洋一　氏
精進　渡邉　健三　氏

◆富士河口湖町選挙管理委員会委員補充員の選挙
大石　梶原　昇　氏
勝山　大石　威起　氏
大嵐　渡邊　和也　氏
精進　小林　平　氏

知りたい！聞きたい！



親樹会

だいひょう・かんれん
代表・関連質問

親樹会 代表質問者
渡辺　元春

Q1 平成24年度予算編成の基本方針を問う

質問　11月町長選挙で渡辺凱保町長が再選された。そこで町政2期目にかける思い、平成24年度予算編成の基本方針をあわせて問う。

町長　人にやさしく環境にやさしい世界遺産にふさわしい心のまちづくり、教育、福祉の充実した町民一人一人が心豊かに輝ける、住んでよし、訪ねてよしの観光立町に、誠心誠意取り組んでいく。

　平成24年度予算編成の基本方針は、景気の悪化により法人町民税、個人町民税や固定資産税についても減収、また国の税制改革の状況や地方交付税、補助事業等の動向が不透明であるため見通しは極めて厳しい。すべての事務事業を見直し行政改革を一層推進し、歳出削減に努める。

関連質問（三浦康夫）　平成24年度の当初予算に向けて、さらなる行政改革推進の具体策として、地方版の事業仕分けを行う予定があるか。

総務課長　今後、地方交付税の大幅な減額が予想され、平成26年から32年までの間に段階的に減額されるため、職員の意識改革はもとより、事業仕分け等も視野に入れた中で徹底した歳出の削減に努めていく。

急ピッチで建設が進む特別養護老人ホーム（船津）

Q2 町の機構改革の取り組みは

質問　合併から8年経過し、役場内の機構改革について今後どのように取り組んでいくか。

町長　機構改革については、これまでも住民の要望に柔軟に対応できる組織改革に取り組んできた。行政改革推進本部及び事務合理化委員会において引き続き検討し、平成24年度に向けても取り組んでいく。

関連質問（渡辺余緒治）　組織改革も積極的に進めて頂きたいが来年度の取り組み、当町の職員の適正規模と今後の計画は。

総務課長　平成24年に向け総務課、管理課、企画課、政策局の再編を検討中である。

　平成23年4月1日現在の職員数は227名である。

　平成17年以降22年まで30名減っている。平成23年から27年まで17名削減して、217名にする計画で進めている。

Q3 介護慰労金増額の理由は

質問　町長選の公約の中で、介護慰労金を3万円から12万に増額すると掲げられているが、在宅介護への現状認識と慰労金増額に至る思いを問う。

町長　4年前に介護慰労金は2万円から3万円に引き上げた。しかし毎日自宅で介護している方々の肉体的、精神的な負担を考えると、12万円に引き上げる必要があると考えた。

関連質問（梶原　武）　介護慰労金の支給基準を町民にわかりやすく、町のホームページに掲載してほしい。

福祉推進課長　町の広報とかホームページで載せることはぜひとも必要で大切なことである。早速検討する。

関連質問（三浦康夫）　介護慰労金要綱の対象基準がわかりにくく支給基準も厳しいように思える。見直しをお願いする。

福祉推進課長　金額等の変更があるので、要綱の見直しは必ずしなければならない。支給要件の内容見直しは、これからの検討課題である。

Q4 子どもたちに富士山頂からの感動を

質問　富士河口湖町の子どもたちに富士山の素晴らしさを伝えるため、郷土愛を育む学習の一環として、中学3年生までに頂上を目指した富士登山の実現に向けた取り組みについて問う。

教育長　今後富士登山に向けて、平成24年度に（仮称）富士登山検討委員会等を立ち上げ、登山に精通した人たちの指導を仰ぎながら、調査研究を行い、富士山登山計画表を作成する。平成25年度に予算計上し、地域の方々や保護者等の理解と協力を得て、中学生を対象にした富士登山を実施していきたい。

関連質問（梶原　武）　富士登山検討委員会を立ち上げるということだが、そのメンバー構成はどのように考えているか。

頂上をめざす

教育長　検討委員会のメンバーは10名前後の構成になろうかと思う。

Q5 富士山世界文化遺産登録に向けた今後の取り組みは

質問　富士山世界文化遺産の推薦書原案が提出され「明日の富士五湖創造会議」で河川改正法を取り巻く新たな取り組みについて説明があった。この河川法の新たな取り組みについて問う。

政策局長　今回の改正の特例措置は、河川の利用許可の範囲について、地域の意向を踏まえつつ地域再生、地域の活性化のために利用する施設について許可できるものとなったものである。

関連質問（三浦康夫）　河口湖、西湖、精進湖、本栖湖、それぞれの湖ごと統一的なルールでなく、地域の事情に合ったきめ細かい対応が地域の発展につながると思うが。

政策局長　各湖でそれぞれ環境が違う。現在その方向で進めている。

　河口湖においても、それぞれ環境が異なっているので、地域の人たちの声を聞きながら、行政が決めるということではなくて、皆さんの合意の中で作業も進めていくべきだと考えている。

いっぱん 一般質問

Q1 町長当選後の町政の将来像は

一般質問者
外川　正純

質問　地元企業や健康科学大学など、産学官の連携強化を図っていただくこと、観光活性化のため富士河口湖町ブランド創出の実現など、町政の将来像を問う。

町長　一番の基本は、堅実な財政運営である。この先4年間、富士山世界文化遺産登録を最大限に意識した町政を行いたい。

また富士山世界文化遺産の登録と同時に、町民一人一人の生活の豊かさと質の向上を図ることが重要な課題である。観光、福祉、環境、教育面を重視した施策で、住んでよし、訪れてよしの質の高い世界遺産のまちづくりの実現を将来像として考える。

Q2 観光のまち富士河口湖町の観光推進と外国人客の誘客を

①クニマスの観光宣伝と両地域の活性化

質問　全国的に有名になった西湖の幻の魚クニマスが縁で、田沢湖のある秋田県仙北市との間で西湖・田沢湖姉妹湖提携がなされた。

富士河口湖町を挙げてクニマスの観光宣伝と西湖、田沢湖の宣伝をして地域の活性化を。

政策局長　観光面でのクニマスの活用策は、クニマスのロゴマーク等による地域ブランドの創出と、西湖観光協会を含む団体から西湖クニマス焼きの企画がある。

クニマス焼

②観光客の動向と方針は

質問　町の根幹をなす観光産業の今後の方針は。

観光課長　各種イベントを仕掛け情報発信し、誘客を図る。まず冬の誘客では、新たなイベント企画を追加した「富士河口湖・冬物語」を実施していく。

Q3 河口湖南中学校の新築校舎建設に地元業者を

質問　この建築をぜひ富士河口湖町内の建設業者が受注できないか問う。同時に町の発注する工事全般の分離発注方式はできないものか。

町長　河口湖南中学校執行部と相談して決定していきたい。

管理課長　大規模な事業計画の場合には、分離発注の効果やメンテナンス方法等を考慮しながら分離発注方式を検討していく。

再質問　冷え切った町内の建築業者、電気業者、水道業者や土建業者などにぜひ仕事を与えて欲しい。

管理課長　技術的専門分野が混在する工事は、例えば土木工事と電気工事を分離し発注するなど、工事内容を精査し事業費の縮減、品質確保、あるいはメンテナンス、受注機会の確保等を勘案し対応する。

本町では小規模工事等契約希望者登録制度を設け、町が発注する小規模な工事及び修繕で町内の事業者の受注機会拡大につながるよう積極的に取り組んでいる。

いっぱん一般質問

一般質問者
佐藤　安子

Q1 デマンド交通システムの早期導入を

質問　公共交通は主要道路のみの運行と運行数も少ない。これでは高齢者が元気に移動することが厳しい。

政策局長　特に公共交通が無い富士ヶ嶺地区は、週5本の山梨赤十字病院行きと、週3本の健康プラザ行きを無料で町バスを運行している。来年から健康プラザ行きを山梨赤十字病院も経由することと、8本のバス運行ルート上であれば、希望箇所で降車できるようにしたい。

Q2 ごみ処理費用削減の方策を示せ

質問　ごみ処理費用が年間3億円もかかっている。まちぐるみのキャンペーンで町民の協力を求めるべきではないか。

環境課長　ごみ問題は深刻の一途をたどり、観光客によるごみと生ごみ等の水切りが行われないなどにより処理量が増えている。今後、EM発酵ボカシを配布し、生ゴミを家庭で処理していただく。更にチラシなどでごみ減量化に向けPRしていく。

無料町バス

Q3 結婚支援で町の活性化を

質問　結婚したくても出会いの場の無い若者に街コンなど、観光スポットを利用した結婚支援事業で、少子化対策だけでなく活性化につもつながるのではないか。

福祉推進課長　河口湖商工会や観光協会などと連携しながら、町の特色を生かした婚活イベント開催で結婚支援事業を進める。

Q4 地域の茶の間・コミュニティカフェを

質問　高齢者や障害者、子どもが一日ゆっくりできるコミュニティカフェの設置はどこまで検討しているか。

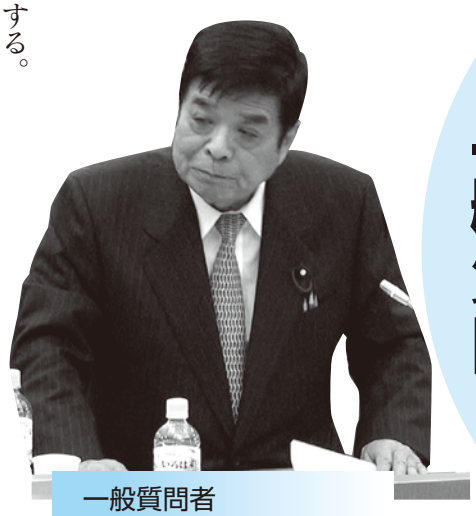
福祉推進課長　コミュニティカフェなどには支える側の人材が必要。10月から健康増進課で行っている福祉を学ぶ地域支え合い人材育成事業の参加者を軸に地域と町民との協働で進めたい。

Q5 PSAとピロリ菌検査の全額公費助成を

質問　PSAの測定は前立腺がんの早期発見に必須。ピロリ菌と胃がんの因果関係が究明されピロリ菌の有無を確認することが大切。これらの検査は血液で簡単に採取できる。

健康増進課長　検診の際にオプションで勧めているが今年度、PSAは80人、ピロリ菌は0人。費用はPSA検査1570円、ピロリ菌検査850円と自己負担が可能な金額と考える。早期発見、適切治療の上から、検査を勧奨していく。

いっぱん 一般質問



一般質問者
井出　總一

Q1 冬花火の政策転換を問う

質問　冬花火はどのような判断で政策が変わっていったのか、政策転換について問う。

町長　政策転換についてはすでに議員各位に説明をしている。冬花火開始当初に比べ、湖の環境に対する関心はさらに高まっており、富士山世界文化遺産登録に向け、湖の環境整備、環境保全を一層進める観点からも、湖上で打ち上げる冬花火の実施方法を見直す時期が来たと考える。

冬花火だけに頼らない新たな冬のイベントを検討すべく、河口湖新イベント検討委員会を昨年7月に立ち上げ、具体的な検討を重ねている。

冬花火は中止するのではなく、湖に負荷をかけないために湖上から陸上へ移行して実施する。

「富士河口湖ウインターフェスティバル」は、新イベント検討会からの提案で「富士河口湖・冬物語」と名称を改め、多彩な新イベントも盛り込み、12月から3月にかけて取り組むことが12月7日の実行委員会で決定した。

河口湖・冬物語

Q2 企業誘致係の体制は

質問　企業誘致などの町の活性化に取り組む施策の中、政策局に企業誘致係を新設すると言うが、どのような体制、人的配置を考えるのか。

町長　企業誘致の積極的な促進、商工会と連携した地元企業との積極的な交流や情報交換及び地元企業への支援、さらに特産品の開発、伝統・地場産業の活性化、スポーツ合宿地の推進のために、観光課の中に産業係を、また政策局内に企業誘致係を設置することを公約として挙げてきた。具体的な体制や配置等は、行政改革推進本部及び事務合理化委員会で、役場内での機構改革とあわせて検討し、平成24年度に向けて方針を出していきたい。

再質問　25年度から陸上での花火大会、また新イベントを実施するということだが、事業の多くは宿泊施設が予算の捻出を負担している。冬花火プラス新イベントをどのようにとらえているのか。

町長　新イベント検討委員会を重ねており、ウインターフェスティバル等も内容が大分変わったと受けとめている。今後、冬花火も盛り込んで取り組んでいく。既に日刊マラソンの前夜祭で陸で打ち上げる実験をしてきた。町民と共に新しいイベントは必ず成功させたい。

Q3 国民健康保険税の見直しは

質問　特別会計の国民健康保険税の負担が、経済低迷の中で一番頭の痛い住民の問題だ。保健税負担を見直す考えはあるのか。

町長　増加する医療費などの影響からその財源不足が深刻な状況で、医療費を賄うためには国保税の確保が必要不可欠である。平成22年度には大幅な税率の引き上げをして税額確保に努めてきた。しかし、減少傾向にならない医療費を賄うためには、引き続き国保税の確保が必要であり、国保税の引き下げは非常に厳しい。また、引き下げのための一般会計からの補てんは今は考えていない。

他の質問

文化・歴史の充実した健全財政とは

一般質問 いっぱん

一般質問者
山下　利夫

Q1 町内巡回バスの実施を

質問　船津、小立、勝山地区南部には路線バスが通っていない。富士吉田市が実施しているように、町の財政負担で駅、公共施設、病院などを結ぶ巡回バスを実施しては。

政策局長　デマンド交通システム（自宅近くまできめ細かくバスなどを運行するシステム）の導入も意識しながら検討する。

Q2 住宅リフォーム助成制度の実施を

質問　住宅や店舗のリフォーム費用の一部を自治体が補助する「住宅リフォーム助成制度」は経済効果が高く、さまざまな業種の業者の仕事を増やすことにつながり、リフォームしたい方にとっても大きな支援となる。当町でも実施しては。

都市整備課長　地域経済の活性化のために有効と思われるので実施に向け取り組む。景観に配慮した制度にするため、景観計画策定予定の２０１２年９月以降の実施をめざす。

Q3 町内への移住者を増やす対策強化を

質問　精進湖活性化協議会が行っている古民家を活用した移住促進の取り組みは。また、町営住宅の建設を検討しては。

企画課長　同協議会は、平成19年に発足し、空き家の有効活用や移住促進の調査研究などに取り組んできた。そのなかで、二棟の古民家を、田舎暮らしの体験施設として改修整備し、多くの県外者が宿泊体験をされてきた。このうち一棟は、長期貸し出しが決まった。

町営住宅については、空き家対策や新築住宅への補助制度などを引き続き実施しつつ、状況を良く見ながら検討していく。

Q4 富士ヶ嶺地区に食料品、日用品の買えるお店の再開を

質問　富士ヶ嶺地区はＡコープが閉店し、近くに食料品や日用品が買えるお店がなくなり、住民は不便な思いをされている。改善のための検討を。

町長　日用品も扱う農産物直売所の開設などについて、地域の方と相談する場をつくりたい。

Q5 臨時職員の労働条件の改善を

質問　「同じ仕事をしているのに、正規と臨時職員の待遇の差が大きい」「何年仕事しても賃金はそのまま」などの声に応え、臨時職員の賃金に「経験加算」（経験や技能などに応じて賃金を加算する）を導入しては。

総務課長　当町の臨時職員の賃金は人事院の定める最低基準を上回っており、経験加算を取り入れることは今のところ考えていない。

精進居村の古民家

1 総務常任委員会

委員会レポート

常任委員会の活動状況を報告します。

広報の見直しは

質問　カラー化を含め広報富士河口湖の見直しをどう考えるか。

企画課長　広報は、現在大体28ページでいろいろな情報を載せて内容は充実していると思う。他の市町村を参考に取り入れられるものがあれば検討する。

町税滞納削減策は

質問　町税滞納削減のためのアクションプランを11月の全員協議会で説明を受けたが、その後どうなっているか。

税務課長　アクションプランは平成25年度末までに3つの目標がある。①現年度分の徴収率を97％に上げる。②滞納繰り越し分を1億円減額する。③町税の姿を町民に公表する。具体的には個人住民税の前納報奨金を廃止。1，000口の口座振替者を増やす。毎月1回日曜日の納税相談日を継続する。

質問　滞納についてのアクションプランの中に町長が一緒に滞納整理に歩くとあるが、これはすばらしいインパクトになる。このような考えがあるかどうか。

町長　税務課、副町長、関係部署と相談し検討したい。

町の防災会議は

質問　町の地域防災会議はどういう頻度で、どのような打ち合わせをされているのか。

管理課長　今のところ開催をしていない。

質問　その防災会議には女性が入っていないということだが今後の見直しを問う。

管理課長　町は国と県のアクションプランとの整合性を持ち計画をつくる。災害時の対応として女性の意見を聞きながら検討する。

要望　当町は男女共同参画部署と連携を持っていないということだ。男女共同参画計画に防災関連が載っているので、防災に関しても連携をとって欲しい。

質問　町長の公約の中で、職員が防災リーダーになり地域の見本になるということを言っていたが。

町長　そのようなことを基本にして取り組みたい。

防災倉庫の視察

世界遺産登録で期待と不安

質問　山日新聞に、「世界遺産登録で期待と不安」と掲載されていた。記事にはごみの投棄や交通渋滞の懸念が書かれている。町は懸念される部分をどう考えるか。

政策局長　今回、河川法の許可の準則では地域の活性化あるいは地域の合意が見られれば許可をするという内容なので河川敷を駐車場に検討する。交通渋滞は本栖湖方面の道路が問題。どこかにモータプールをつくり、シャトルバスが本栖湖あるいは精進湖方面へ行くというような手もある。ごみ問題ではどうしたら景観が保たれ、ごみの散乱が防げるか、皆さんと知恵を出し合いながらやっていきたい。

○そのほかの質問

特例債、まちづくり交付金終了後の財政は

2 文教社会常任委員会

家庭の生ごみ処理の施策を問う

質問　環境衛生費の中で、材料（ぼかし）と機械を購入して、家庭用の生ごみを処理するというような計画だが、１００万円近くの補正予算でどのような規模でどういう形になるのか。

環境課長　この予算で現在３００世帯に配布を考えている。全世帯配布は難しいが、地道だが徐々に展開していかなければならないと考えている。

新しい介護保険制度への対応は

質問　来年度から介護保険制度が変わり、要支援１・２の方は介護保険外のサービスで行うこともできるようになるが、サービスの低下が心配される。今まで通り介護保険で行うべきだと思うが町の考えは。

健康増進課長　介護保険サービスで全部できればいいが、介護保険の会計は年々大変になっている。必要なサービスは提供しつつ、皆で支え合う体制づくりを進めていきたい。

国保税の値上げ率は

質問　平成22年度に大幅に国保税が上がったが、その値上げ率は。

住民課長　値上げした税額は平均約20％で、過去にない上げ幅だと承知している。

学校の防災マニュアルの策定は

質問　３月11日の東日本大震災を契機に、防災マニュアルの改定が全国的に進んでいるが、当町において学校関係の防災マニュアルの策定は、どのように進んでいるのか。

学校教育課長　現在学校に防災マニュアルの策定をお願いしてある。教頭が中心になり何回か検討会を開催していると聞いている。今後は校長会に防災マニュアルの原案が報告され、年度内には学校教育課に提出されるものと思っている。

保育所用地取得の財源は

質問　町は小立保育所とこもも保育所の用地取得の財源を、小立と船津財産管理会に求めている。小立、船津は財産管理会にある程度の財源があるので可能だが、今後小立、船津以外の地域でこのような案件が出た場合その財源の求め方を、町はどのように考えるのか。

町長　基本的に財源は町が考えるべきである。ただ、これまで財源を財産管理会にお願いしたという過去の経緯もあり、財源負担をお願いしていると理解している。財源のない地域でこのような問題が起きた時には、町が考えるべきである。地域によってアンバランスという問題があるが、皆様方ともよく相談しながら、今後しっかり進めていきたい。

○そのほかの質問

美術館そばのビオトープの管理を問う

渡辺大規君のロンドンオリンピック出場に際し壮行会を開催せよ

くぬぎ平サッカー場の視察

3 産経土木常任委員会

白滝周辺駐車場整備の進ちょく状況は

質問　白滝周辺の駐車場整備は当初予算に計上されて、もう8カ月経っているが、今どのような状況か。

観光課長　発注をかけ契約も済んでいる。遅くなったのは弁解の余地がない。

下水道の普及状況は

質問　下水道は整備されてきているが、つなぎ込みが進んでいない状態だが。

水道課長　住民説明会を開催し課員総出で普及促進に向けてパンフレット等の資料配布をしている。今後も抜本的な普及促進に努めていく。

質問　つなぎ込みの費用が業者により値段がまちまちで、下水道料金が水道料の3倍かかるので加入したくないと言う声を聞くが。

水道課長　水道、下水道の指定工事店の講習会を開催し、排水設備工事の問題意識を再認識していただくよう工事店の教育をしている。下水道の使用料は合併後、改定を行い料金の統一をした結果、約2・28倍となっている。

浅川地区の植栽計画は

質問　浅川の遊歩道にもみじやアジサイを植栽する計画の進ちょく状況は。

都市整備課長　今年度は要望に沿う形で、小曲から200メートルほど、河川整備の中で植栽した。次年度から数年間で、白山川から北側にかけて河川整備を行い、桜ともみじを植栽する計画である。

浅川の水道維持管理は

質問　浅川地区の水道は、町で維持管理はしていないが理由は。

水道課長　地区の方のご要望があるが、それには法的ないろいろな制度をクリアしなければならない。平成25年に国に簡易水道として認可申請をし、認可が受けられたら、特別会計の条例の制定などを行い、平成28年に水道の統合という大きなビジョンに整合するように手続きを踏んでいく。

若彦路に横断歩道を

質問　若彦トンネルから河口湖への県道719号線には、横断歩道が1つもない。小学生の通学路になっており、早急な設置を警察に要請するべきでは。

都市整備課長　PTAからも陳情が上がっている。防災対策の関係もあるので、相談のうえ、警察への陳情を上げていきたい。

西湖いやしの里根場の運営状況は

質問　西湖いやしの里根場は、震災の影響もあると思うが、4月から11月までの入館者数は。

観光課長　17万3千人で、前年度と比べて約10％の減少である。

質問　いやしの里根場内の2店舗が撤退したが、その原因は。

観光課長　売上げが伸びなかったこと、家賃の金額の問題など、さまざまなことが考えられる。

質問　新たに店舗の募集をしているが、家賃の改定などは検討しているか。

観光課長　検討すべきと考えている。

町道の除雪は

質問　幹線以外の支線道路（細い道路）の除雪はどのようになっているのか。

都市整備課長　幹線道路と通学路を優先的に除雪するため、支線は時間が遅れる場合もあるが、すべての道路を指定している。万が一、除雪されていない場合は町までご連絡を。

西湖いやしの里根場

特集

常任委員会

町内視察レポート

総務、文教社会、産経土木の３常任委員会では、１年に２回のペースで、町内の施設などの視察を行っています。

現場の状況をつかみ、委員会での論戦に活かすことが目的です。今回は、昨年10月に行った視察のようすをご紹介します。

防災倉庫の視察

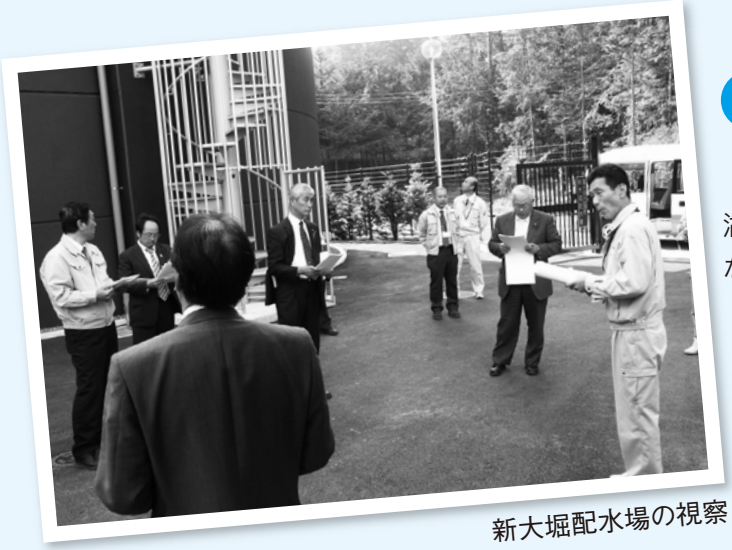
総務常任委員会

昨年10月３日、小立、勝山、精進の防災備蓄倉庫と、精進居村古民家の視察を行いました。

文教社会常任委員会

昨年１０月１１日、河口保育所グランドの芝生、河口湖美術館そばのビオトープ、くぬぎ平サッカー場、船津胎内樹型などの視察を行いました。

船津胎内樹型の視察



新大堀配水場の視察

産経土木常任委員会

昨年１０月１２日、新大堀配水場、西湖いやしの里根場、富士ヶ嶺実験農場などの視察を行いました。

湖畔の暮らしを満喫して

斎藤 修（大石）

潮風の湘南の街から大石の湖畔に移住して、あっと言う間に五年になりました。

十四年前の夏、家族で富士五湖の全てを巡る旅行をしました。富士五湖は、たびたび来たところでしたが、河口湖北岸からの景観には圧倒されました。

それから足しげく河口湖を訪れて、リタイヤ後の生活の拠点は河口湖北岸と決めて、大石の湖岸に絶好の土地を得ることが出来ました。平成十八年、「紅葉祭り」の真っ盛りの秋、晴れて富士河口湖町の住民として、湖畔の暮らしが始まりました。

還暦をすぎての移住なので不安もありましたが、何度も訪れていたせいか、地域の方々には温かく優しく、様々なことを教えて戴き、自然な形で地域に溶けこめたことを感謝しています。

歴史と伝統が格式を滲ませたこの町が心と体に馴染んでいます。早朝の地域自主防災訓練や、筋力アップ教室の仲間・中央公民館での二胡教室やギターサークルの仲間、地域の野菜や果樹の生産者の皆様など、多くの出会いが人生を豊かにしてくれています。

音楽を聴くのも、演奏するのも大好きな自分にとっては、一流の音楽家の演奏を身近に聴く音楽祭や、優れた音響と雰囲気をもつ円形ホールで室内楽を楽しめる環境は、この地域の自慢の一つです。

夏の観光シーズンは、隣の「河口湖自然生活館」でブルーベリーやラベンダー苗の販売のお手伝いをさせていただいていますが、育て方等の説明を通じて、「お馴染み」のお客さんが沢山増えました。

日本中のナンバーが揃う大石公園では、ラベンダーや花のナイアガラ・冬の七夕・四季の花々、気品のある富士山を楽しむ観光客と「富士山ナンバー」を糸口に富士山の話題は尽きません。

気になることは、世界の至宝である富士山と湖水が織りなす静謐な景観と水鳥たちの姿を求めて来訪する人々を不快にする水上バイクの騒音です。暴走族と変わらない爆音に眉をひそめる観光客。「何とかできないものか。」の思いが強くなるこの頃です。

議会見・聞・録

円高やデフレによる不況で、町の財政状況も厳しいと聞いています。国は消費税を引き上げると言っています。税の使い道については、生活に直結しているだけに無関心ではいられません。そんな折、町の来年度予算についての話し合いの様子が、テレビで放映されていました。質疑する人と応答する人、真剣な様子が画面から感じられました。議会の様子がテレビで見られることで、政治が身近に感じられ良いことだと思います。

社会保障や教育、そして富士山文化遺産登録と討議が山積しています。これからも注目していきたいと思っています。

災害や雇用悪化など閉塞感がありました昨年でしたが、今年は活気ある明るい開放感のある年になるように、議会関係者の皆さんの活躍を期待しています。

（長浜　三浦）

西湖樹氷まつり

編集後記

2012年がスタートし、1か月が過ぎました。昨年はつらいことの多い1年でした。どうか今年は、誰もが笑顔で過ごせる1年になりますように。

富士河口湖町議会は、町民の皆様の代表として、その役割を発揮できるよう、さらなる議会改革を進めてまいります。

どうぞよろしくお願いいたします。

議会を傍聴しませんか

次の定例会は3月です。

どなたでも傍聴できます。議場入口で受付を済ませ傍聴してください。
入口には注意事項が掲示されています。

議会だより ふじかわぐちこ 2012.2 vol.33

発行□富士河口湖町議会
編集□議会だより編集特別委員会
〒401-0392 富士河口湖町船津1700　TEL 0555-72-3167